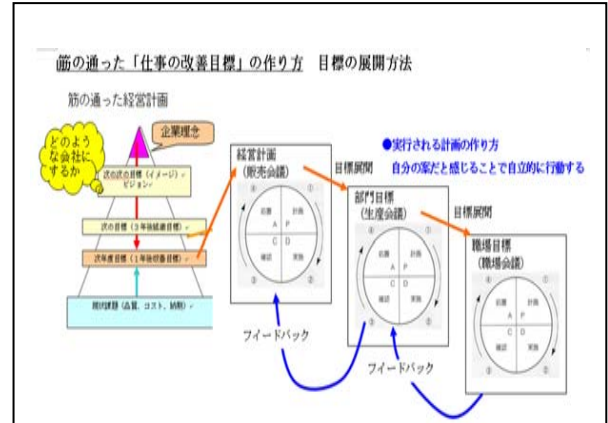


会社の目標を具体化する方法 (筋の通った仕事の改善目標の作り方)

公開セミナー 2009.8.21 於: 上田情報ライブラリー

- 示された会社の組織目標を各職場の一人ひとり、何をどのような改善をすればよいのか、筋の通った目標管理（組織目標→部門目標→職場目標）を行なう。対話による展開の方法をブレイクスルー思考とファシリテーションによって体験する。

- 1、意識をどのように変えるか？
デカルト思考からブレイクスルー思考へ
- 2、筋の通った目標展開の方法
組織目標→部門目標→職場目標
- 3、対話“10 ミニッツ法”による改善計画
広げる→絞る→さらに広げる→絞る
- 4、ワークショップ
「客単価 1500 円居酒屋を創る」

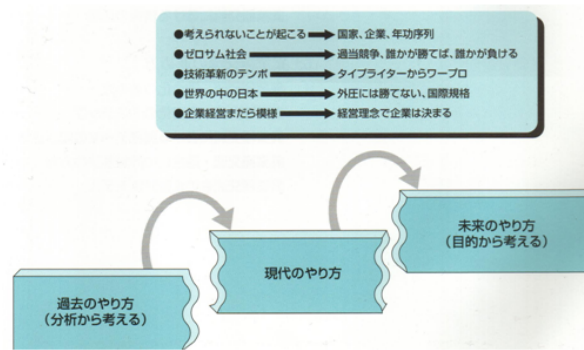


1、意識をどのように変えるか？（デカルト思考からブレイクスルー思考へ）

2つの思考エンジンを埋め込む



過去のやり方、未来のやり方



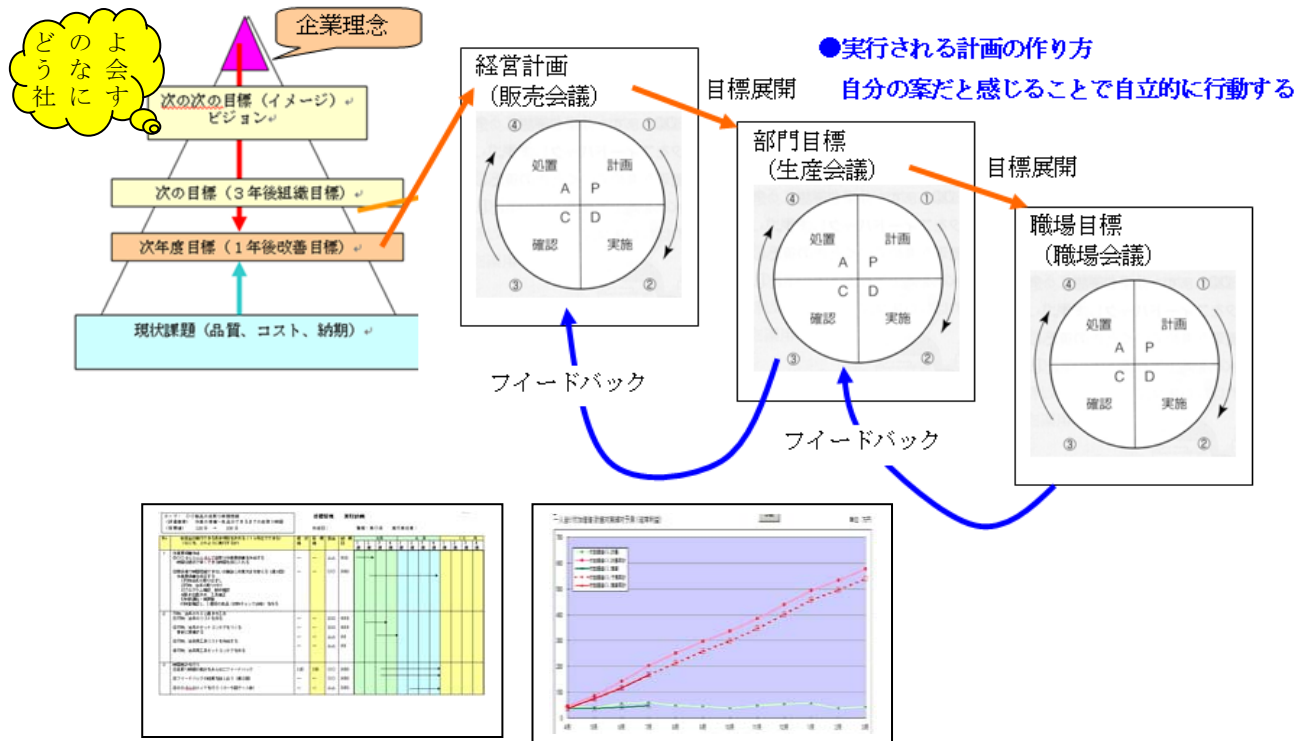
出展：企画計画学 日比野省三著

デカルト思考とブレイクスルー思考のアプローチ

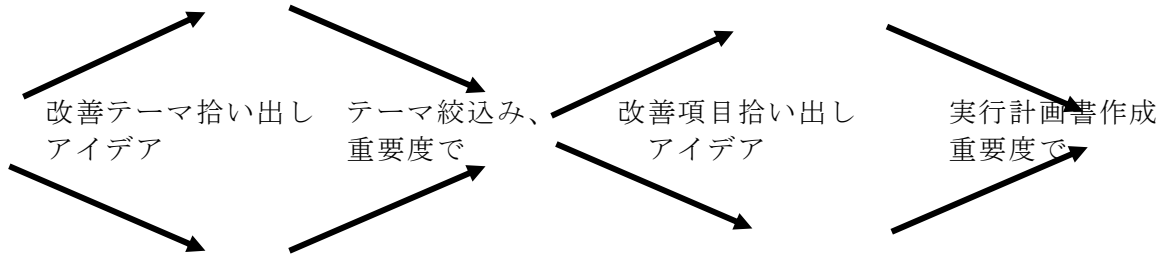
過去の延長で考える「デカルト思考」	未来から学ぶ「ブレイクスルー思考」
“分析して”から考える（機械論）	“何をしたいか”から考える（システム論）
“なぜ”から一般解を求める	“何のために”から特定解を求める
過去の問題（犯人探し）中心	未来の問題（恋人探し）中心
過去から学び、類似性に注目	未来から学び、白紙で考え、ユニーク差に注目
知識偏重（知識は力なり）	創造力重視（知識の活用）
分析、疑い、置換、モグラたたき	考え、信じ、夢見て、行動

2、筋の通った目標展開の方法

筋の通った経営計画



3、対話“10ミニッツ法”による改善計画



①組織目標の改善策 → ②テーマを絞る → ③改善項目を拾い出す → ④実行の優先付け

10分	①改善テーマ拾い出し (拡げる) 現状分析の共有 (たくさん拾う)	<ul style="list-style-type: none"> ● 10分朝礼での話合いのポイント <ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい雰囲気づくり、アイスブレイク ・グランドルール確認、テーマ、目的、目標の合意 ・独創し、自分の想いを整理する ・響創で全員が発言・意見をもれなく記録 (アイデア件数が多ければ多いほどよい) ・何がポイント (重要か) 絞り込む (パレートの原則で重点管理) ● 改善は数値目標を工夫する <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦目標は、現状の1/2がよい ・段階的に、(例) 段取り時間の例：現状 30分 例えば、 第1段階 25分、第2段階 20分、第3段階 15分 ・自発的に役割分担できるようなムード作り ・改善結果がみんなに見える工夫 (グラフなど)
10分	②改善テーマ絞込み (絞る) (何が重要か) ・数値目標設定の例 ①段取り時間短縮 ②加工数アップ/時間 ③不良数削減 ④作業効率 (少人化)	
10分	③改善項目の拾い出し (拡げる) (たくさん拾う)	
10分	④実行計画書作成 (絞る) 実行計画書作成 (見える化) 重要度の大きいものから 役割を申し出る	

4、ワークショップ

テーマ 「客単価 1500 円の居酒屋を創る」

消費低迷の昨今、消費者物価は昨年 10 月を境に下がり続けている。全戦全勝であった日本マクドナルドホールディングスの 6 月度売上高は、41 ヶ月ぶりに前年割れをした。

全国展開の居酒屋チェーンで、従来の客単価 2500 円を 1500 円で販売する組織目標の戦略を立てた。

改善テーマと改善項目を拾い出し、何から手をつけるか改善順位を示しなさい。

<目的展開>

場 いつ：2009.9 どこ：通勤路
だれ：サラリーマン
テーマ「ちょっと一杯システム」

- ・ 飲食を楽しむ
- ・ 飲食を仲間と楽しむ
- ・ 飲食で仲間と気分を変える
- ・ 飲食で仲間と気持ちを通じる
- ・ お互いの存在感を感じる
- ・ お互いの安心感を得る
- ・ お互いの生き様を共感する
- ・ **お互いの生きる勇気を共感する**
(着眼目的)
- ・ 明日から生きる活力を湧き
 上がらせる
- ・

